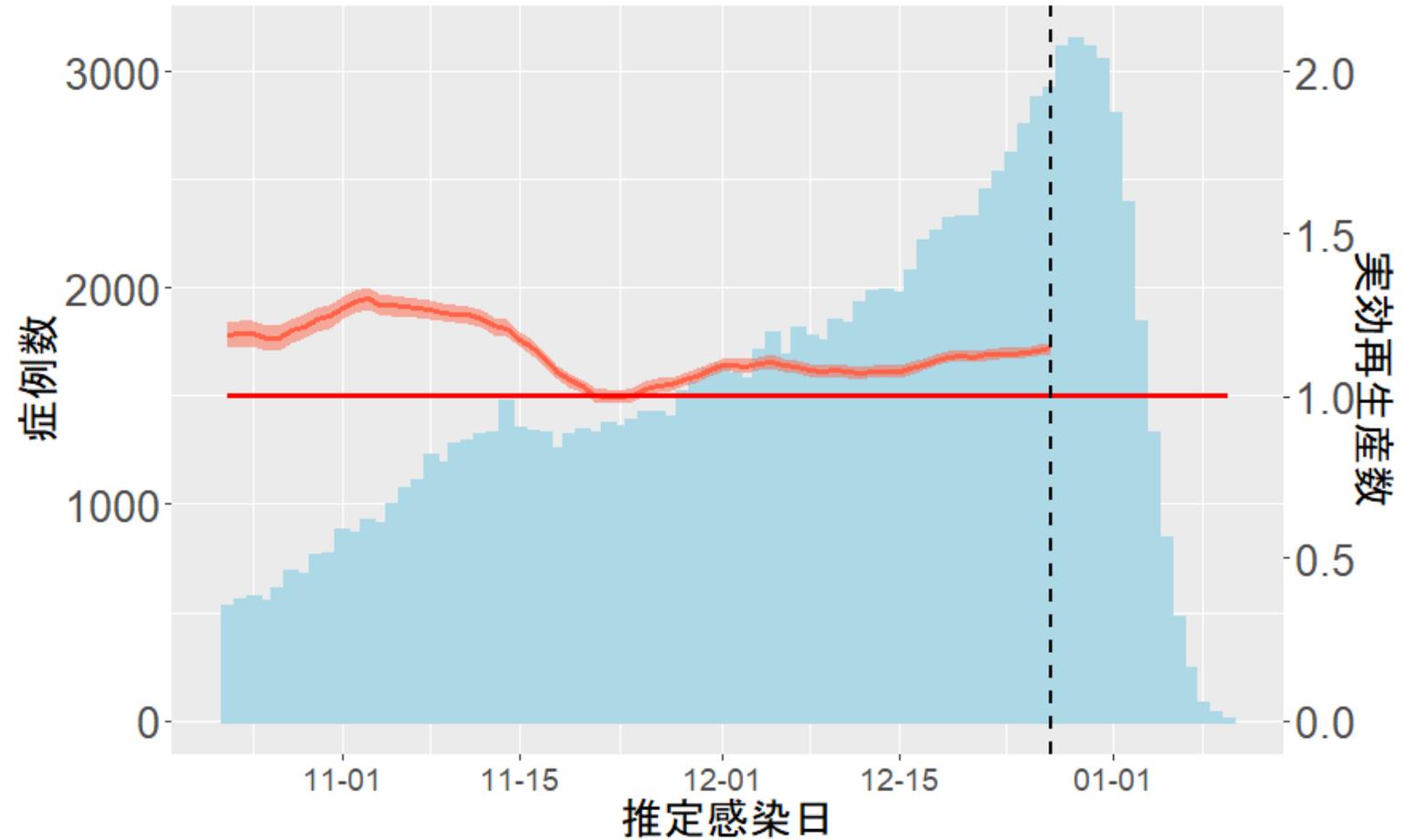


# 全国の実効再生産数

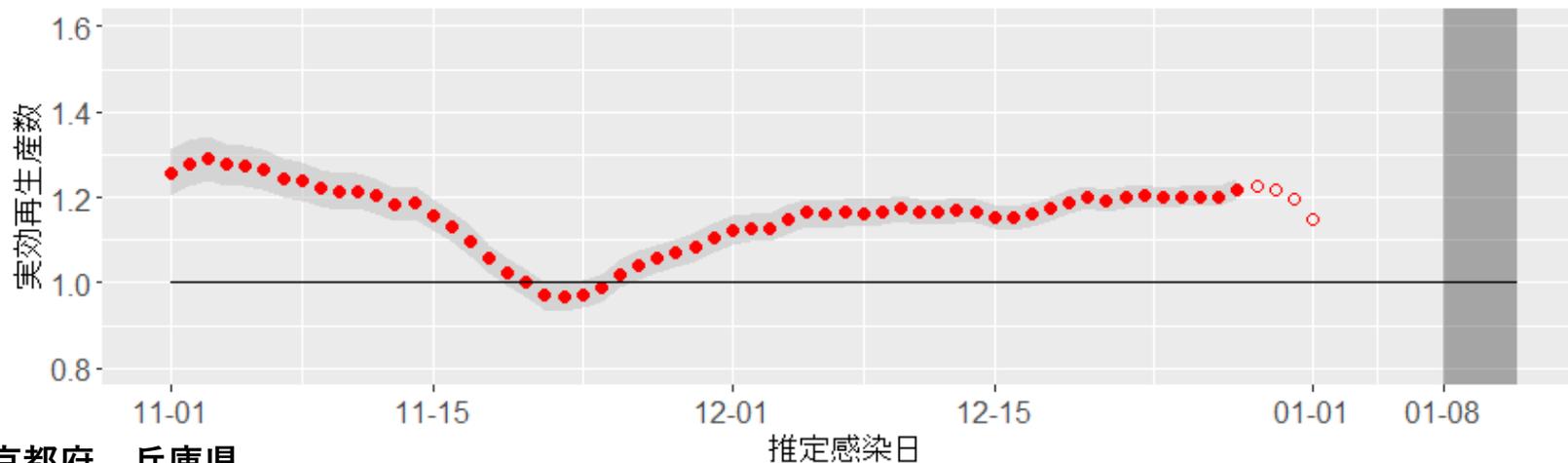
12月27日時点  
1.14 (1.13-1.16)



実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。

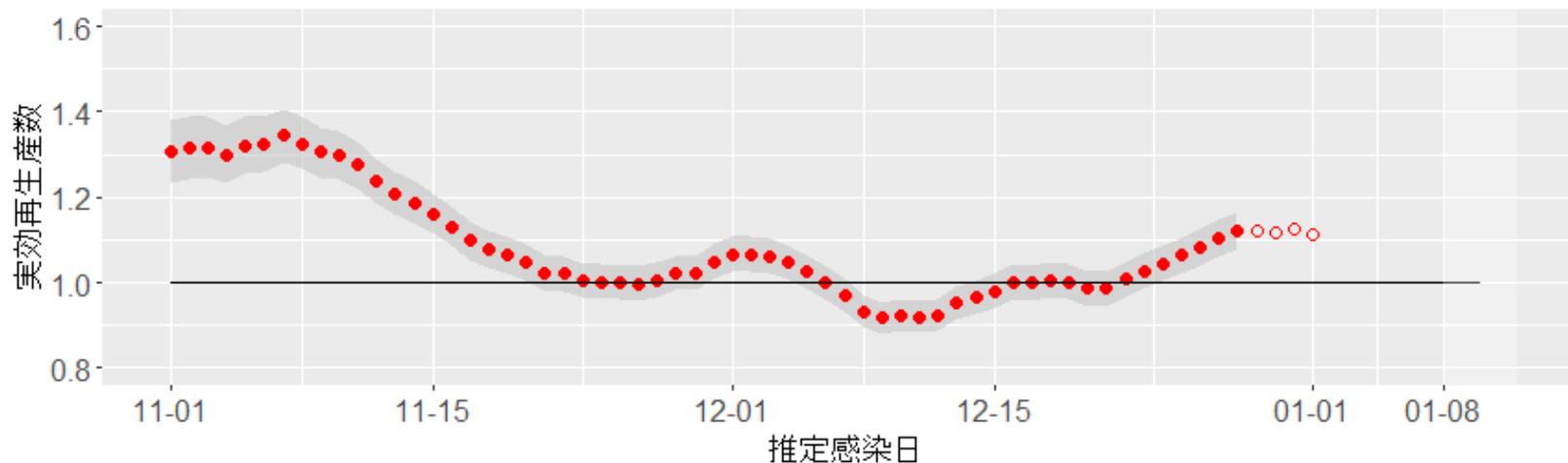
# 首都圏と関西圏の実効再生産数（推定感染日毎）

東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県



12月28日時点  
1.22 (1.20-1.24)

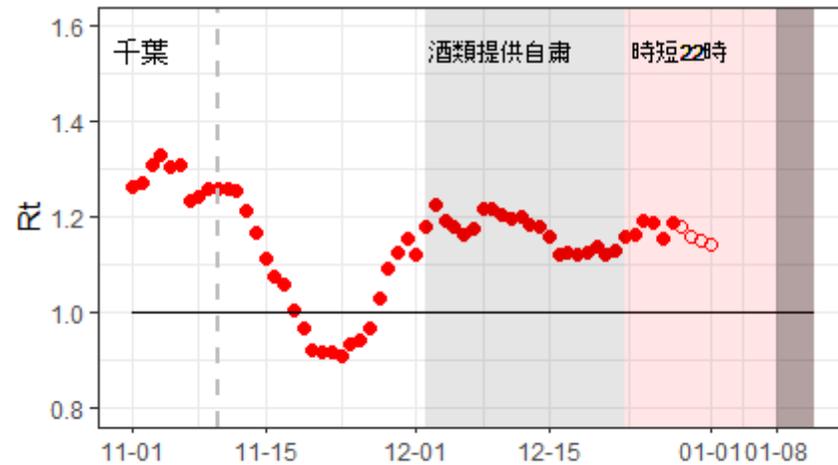
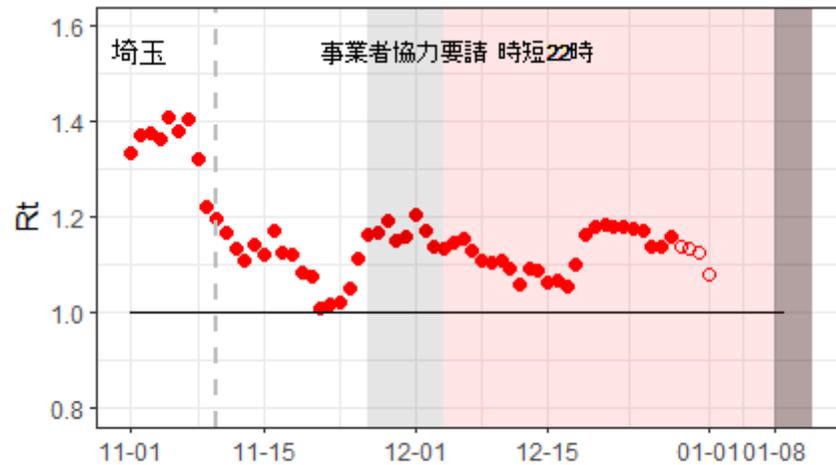
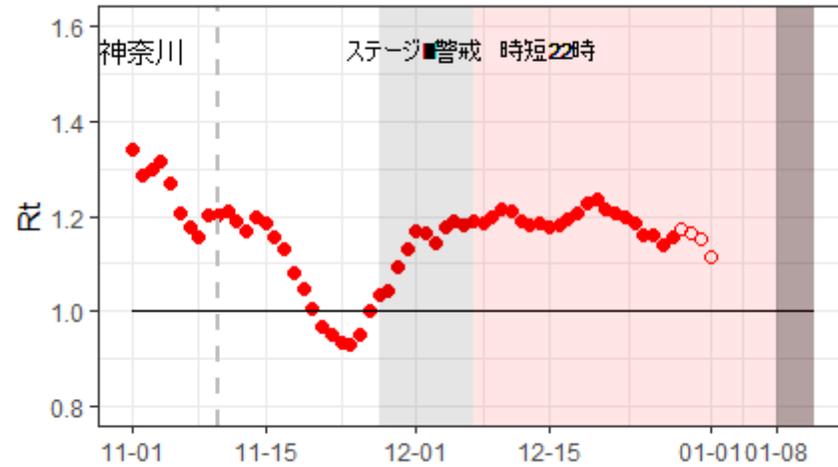
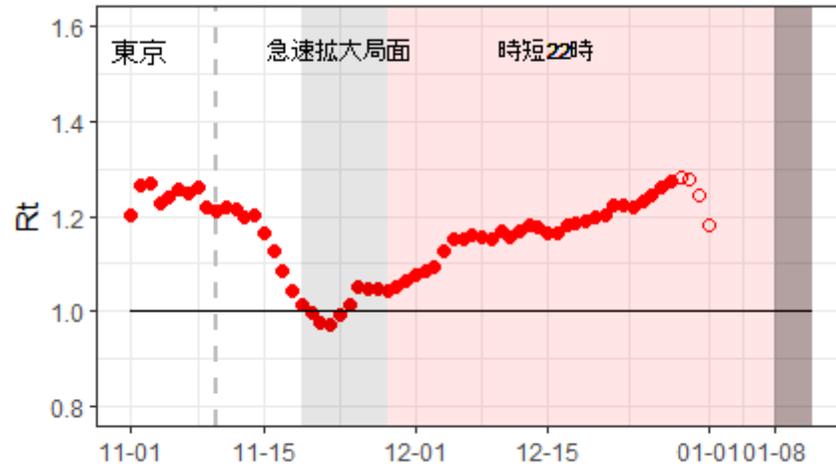
大阪府、京都府、兵庫県



12月28日時点  
1.12 (1.08-1.16)

実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い12日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。

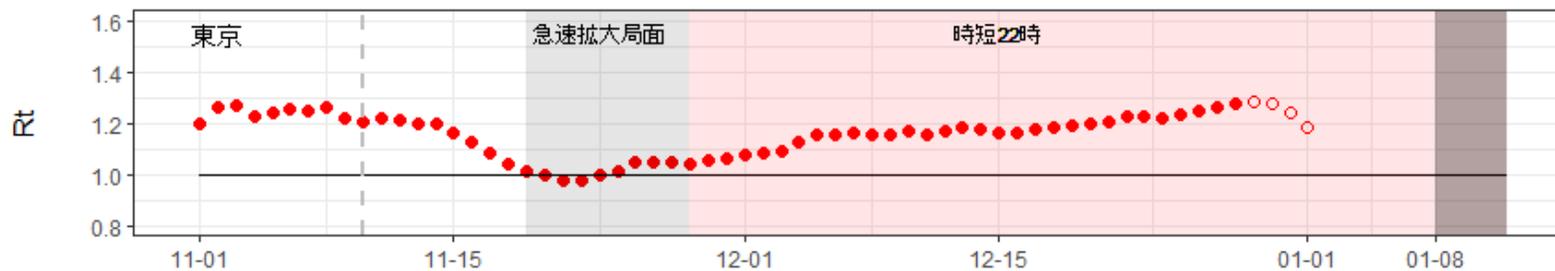
# 首都圏の対策と実効再生産数（推定感染日毎）



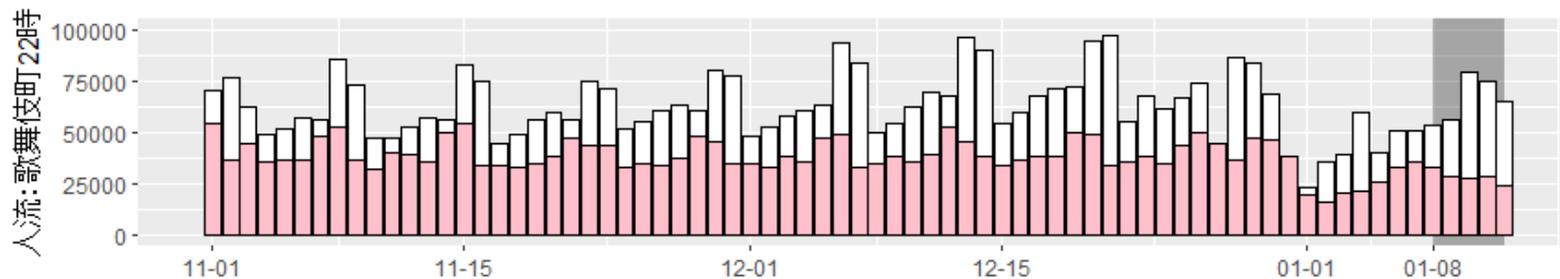
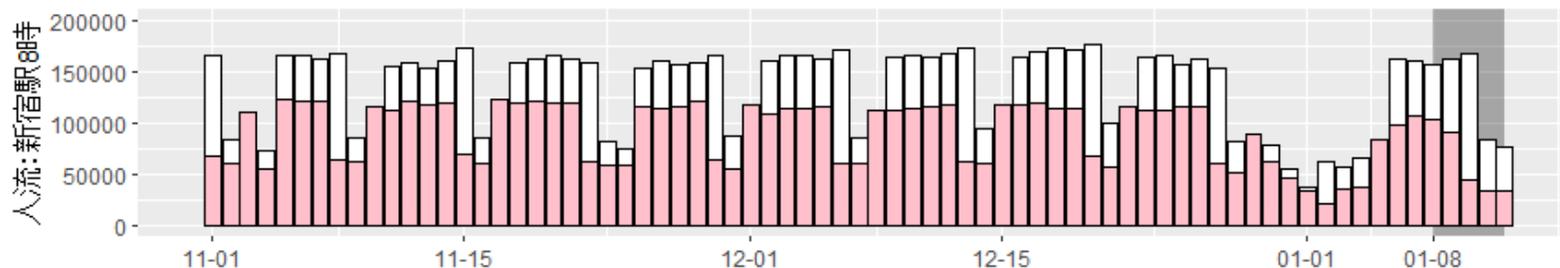
実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い12日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。

# 東京都の実効再生産数（推定感染日毎）と人流

緊急事態宣言

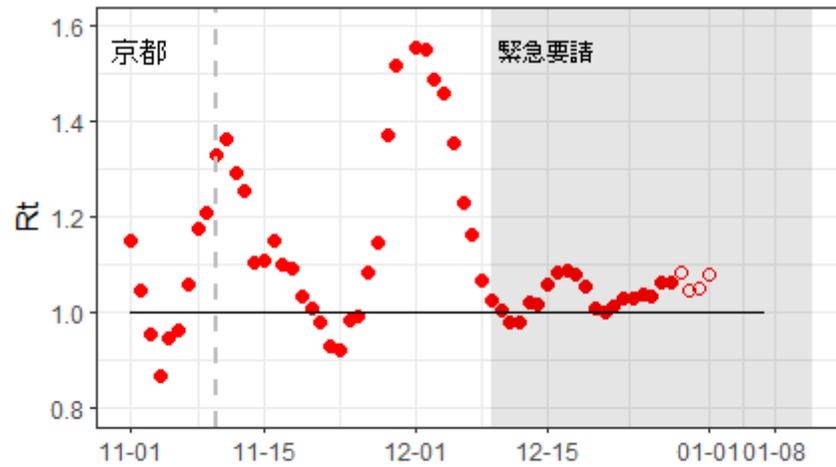
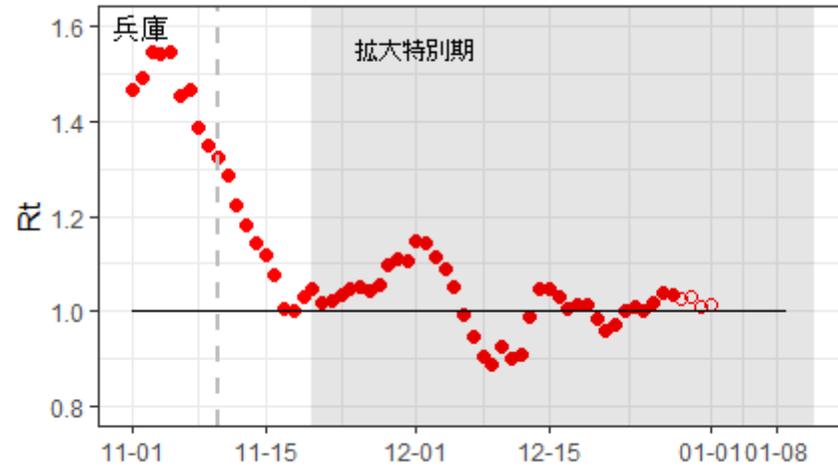
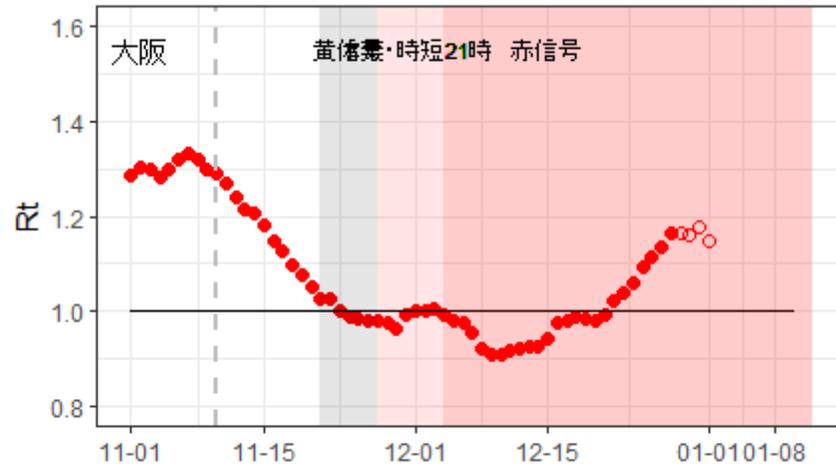


白 = 2019-20年  
赤 = 2020-21年



実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い12日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。人流データは株式会社Agoopのものを用いた。

# 関西圏の対策と実効再生産数（推定感染日毎）



実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い12日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。

## 直近（53週：12/28~1/3）のインフルエンザ動向

サーベイランス指標（情報源）	レベル	トレンド	コメント
定点当たりのインフルエンザ受診患者報告数 （NESID、約5000定点）	低 （0.01 [患者報告数69例]）	横ばい	45週24例、46週23例、47週48例、48週46例、49週63例、50週57例、51週70例、52週69例、53週69例
全国の医療機関を1週間に受診した推計患者数 （NESID、推計）	低	横ばい	約0.1万人（95%信頼区間：0～0.2万人）
基幹定点からのインフルエンザ入院患者報告数 （NESID、約500定点）	低	横ばい	45週4例、46週9例、47週2例、48週5例、49週3例、50週5例、51週2例、52週6例、53週7例
病原体定点からのインフルエンザウイルス分離・ 検出報告数（NESID、約500の病原体定点）	低	横ばい	1/11現在、36週以降、43～44週に2例 （A(H1N1)pdm09） （データは毎日自動更新）
インフルエンザ様疾患発生報告数（全国の保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校におけるインフルエンザ様症状の患者による学校欠席者数）	低 （休校0、学年閉鎖0、学級閉鎖0）	横ばい	36週以降、37週に学年閉鎖1、43週に学級閉鎖1（北海道）、44週に学級閉鎖1（福岡県）、45～52週は0、53週は0
国立病院機構におけるインフルエンザ全国感染動向（全国141の国立病院機構各病院による隔週インフルエンザ迅速抗原検査件数、陽性数）	低 （12/1～12/15:検査数2660、陽性数2例）	横ばい	2例（A型2例）（11月後半はA型2例。11月前半はA型2例、B型1例）（検査は、診察医師の判断による）
MLインフルエンザ流行前線情報データベース（主に小児科の有志医師による自主的なインフルエンザ患者報告数 [迅速診断検査]）	低	微増	1/11現在、36週以降、12/2にA型1例、12/18にB型1例、12/25にA型1例、1/4にB型1例、1/9にB型1例 （データは毎日自動更新）